

●液化石油ガス設備工事届書の作成例

様式第48(第88条関係)

×整理番号	
×受理年月日	年 月 日

液化石油ガス設備工事届書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇市町村長 殿

氏名又は名称及び 〇〇ガス株式会社
法人にあつては
その代表者の氏名 代表取締役 〇 〇 〇 〇

住 所 〇〇市〇〇区〇〇〇丁目〇番〇号

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の3の規定により、次のとおり届け出ます。

工事に係る供給設備又は消費設備の所在地	〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称	〇〇〇〇マンション
当該設備の使用目的	厨房および冷暖房
貯蔵設備の貯蔵能力	50kg容器 12本 (600kg)
工事の内容	別紙のとおり

- (備考) 1. この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2. ×印の項は記載しないこと。

様式第 1 号

工事の内容等

工事の種類	① 新設 2. 変更(供給管の延長・貯蔵設備の位置の変更・貯蔵能力の増加)					
工事従事者	氏 名	設備士免状番号	氏 名	設備士免状番号		
	〇〇 〇〇	福岡〇〇〇				
氏 名	△△ △△	福岡△△△			気密試験保持時間	機械式
					供給管等の内容積 10L 以下	5 分以上
完成検査実施者名	〇〇 〇〇	〇.4kPa 以上 10kPa 以下			〃 10L を超え 50L 以下	10 分以上
					〃 50L を超えるもの	24 分以上
気密試験	供給管等内容積	圧 力	気密試験保持時間			
	60 リットル	8.8 kPa	26 分			
貯蔵設備	火気の種類及び距離	種 類	民家の給湯器	距 離	9 m	
	腐食防止措置	① 有 ・ 無				
	転落、転倒防止措置	① 鎖 ・ ロープ ・ その他 (
	40℃以下対策	① 屋根 ・ 遮へい板 ・ その他 (
調整器メーカー・型式		〇〇株式会社 AX-10DL				
供給管	高圧部 材質	STPG370				
	中圧部 材質					
	低圧部 材質	埋設管	PE	露出管	SGP	
気化装置		有 ・ ① 無	ガス発生能力	kW		
安全装置		①	マイコンメータ ① S、H、SB、E、EB、S4、E4)			
		2	対震自動ガス遮断装置			
		3	ガス漏れ警報器連動ガス遮断装置			
		4	圧力検知式漏えい検知装置			
		⑤	流量検知式切替型漏えい検知装置			
		6	流量検知式圧力監視型漏えい検知装置			

電気式
2分以上
5分以上
10分以上

火気までの距離は2mを超えていること。
火気までの距離が確保できない場合は不燃性隔壁で火気を遮る措置をこらうじであること

様式第2号

供給設備の技術上の基準

(容器による貯蔵で、貯蔵能力が1,000kg以上3,000kg未満及び貯槽による貯蔵で、貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のときに添付)

1. 保安距離	①第1種保安距離 (法定16.97m・障壁設置 0m) 実際 <u>36.5</u> m 保安物件の名称 <u>〇〇〇病院</u> ②第2種保安距離 (法定11.31m・障壁設置 0m) 実際 <u>8.0</u> m 保安物件の名称 <u>民家</u>
2. 障壁	①障壁の構造 材料 <u>コンクリートブロック</u> 寸法 (高さ) <u>200</u> cm (厚さ) <u>15</u> cm ②扉の構造 材料 <u>鋼板</u> (厚さ) <u>3.2</u> cm ③扉の補強 等辺山形鋼(枠) <u>40</u> mm × <u>40</u> mm (内) <u>30</u> mm × <u>30</u> mm 間隔 (縦) <u>38</u> cm (横) <u>33</u> cm
3. 火気等との距離	①火気等の種類 <u>エアコン室外機</u> 火気等との距離 <u>18.5</u> m ②火気距離が5m未満 障壁 (材料) <u>-</u> (高さ) <u>-</u> m
4. 滞留防止	①貯蔵設備面積 <u>21.0</u> m ² 法定換気口面積 <u>6,300</u> cm ² ②実際の換気口面積 <u>12,000</u> cm ²
5. さく、へい等の設置	①さく、へい等の種類 <u>貯蔵設備の建屋と兼ねる</u>
6. 警戒標	①掲示位置 <u>貯蔵設備入口及び側面</u> ②表示内容 <u>LPG貯蔵設備、火気厳禁、無断立入禁止</u>
7. 消火設備	①粉末消火器 A <u>5</u> B <u>12</u> × <u>3</u> 個 ②その他 <u></u>
8. 軽量の屋根等	①屋根の場合その材料 <u>繊維強化セメント板</u> ②遮へい板の場合その材料 <u></u>
9. 転倒防止等の措置	①貯蔵設備の床は水平で、かつ上から物が落ちる恐れがないようにする。 ②転倒防止チェーンによる転倒防止措置を講ずる。
10. 腐食防止措置	①容器は十分に防錆塗装がされたものを使用する。 ②貯蔵設備は排水のよい構造とし、容器の底部を乾きやすくする。

様式第3号

バルク供給に係る供給設備の技術上の基準

(バルク貯槽による貯蔵で、貯蔵能力が500kgを超え1,000kg未満のときに添付)

1. 貯槽の設備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 地盤面上 ・ 地盤面下
2. 貯槽の適合性	<input checked="" type="checkbox"/> 特定設備検査合格証 ・ 特定設備基準適合証
3. 保安距離	①第1種保安距離 (法定1.5m 構造壁等又は埋設設置 0m) 実際距離 <u>100.0</u> m 保安物件の名称 <u>〇〇小学校</u> ②第2種保安距離 (法定1.0m 構造壁等又は埋設設置 0m) 実際距離 <u>60.0</u> m 保安物件の名称 <u>民家</u>
4. 構造壁等	壁の構造 材料 <u>コンクリートブロック</u> 寸法 (高さ) <u>210</u> m (幅) <u>15</u> m
5. 貯槽の表示	L P ガス及び火気厳禁(朱書き)、緊急連絡先の表示の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
6. 腐食防止措置	下地処理・錆止め塗装等の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
7. 転倒防止等措置	支柱又はサドル等取付けの有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
8. プロテクター内のガス漏れ検知器の設置等	ガス漏れ検知器の設置の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 常時監視システム設置の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
9. 火気距離	①火気等の種類 <u>民家の給湯器</u> 火気等との距離 <u>11.0</u> m ②火気距離が2m以内 防火壁等の設置の有無 有 ・ 無